

平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイナボホールディングス

コード番号 7539 URL <http://www.ainavo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部一成

問合せ先責任者 (役職名) 管理統括部部长代理兼管理統括部 経理グループ長 (氏名) 奥山学志

TEL 03-4570-1316

四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日

配当支払開始予定日

平成26年6月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	30,903	34.0	1,404	86.2	1,481	84.6	898	88.7
25年9月期第2四半期	23,066	△3.3	754	45.8	802	39.7	476	66.7

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 922百万円 (83.9%) 25年9月期第2四半期 501百万円 (73.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	77.70	—
25年9月期第2四半期	44.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	29,245	15,158	51.8
25年9月期	28,040	14,374	51.3

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 15,158百万円 25年9月期 14,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	8.00	—	12.00	20.00
26年9月期	—	12.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	14.8	1,690	53.4	1,860	46.4	1,030	50.8	89.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期2Q	11,647,820 株	25年9月期	11,647,820 株
26年9月期2Q	81,363 株	25年9月期	81,223 株
26年9月期2Q	11,566,537 株	25年9月期2Q	10,623,740 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は309億3百万円と前年同四半期に比べ78億36百万円(34.0%)の増収となりました。増収の主な要因としましては、消費税率引き上げに伴い、当初の想定以上に戸建リフォーム工事が増加したことや、集合住宅向け大型工事の完成が順調に推移したこと、さらに昨年5月に完全子会社化したインテルグローグループの業績を取り込んだことによるものです。

また、利益面につきましては、営業利益は14億4百万円と前年同四半期に比べ6億49百万円(86.2%)の増益、経常利益は14億81百万円と前年同四半期に比べ6億78百万円(84.6%)の増益、四半期純利益は8億98百万円と前年同四半期に比べ4億22百万円(88.7%)の増益となりました。増益の主な要因としましては、売上高の増加や大型工事の採算性向上による売上総利益率の改善、販管費の抑制等によるものです。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(戸建住宅事業)

戸建住宅事業の売上高は、268億67百万円と前年同四半期に比べ、68億46百万円(34.2%)の増収、セグメント利益は14億43百万円と前年同四半期に比べ3億86百万円(36.6%)の増益となりました。

戸建住宅の市況は回復基調が継続しております。2013年の持家や分譲住宅一戸建て新設住宅着工戸数はそれぞれ前年比13.9%および6.9%の増加となっており、持家着工戸数は35万戸を超えるなど、リーマンショック以前の住宅着工総数120万台時の戸数と匹敵する規模となっております。また、増税前のリフォーム需要も予想を上回る状況で推移いたしました。

このような状況の下、住宅設備工事につきましては、需要拡大を的確にとらえたことや、太陽光発電システムや木質建材等の新規取扱商材の拡販、またインテルグローグループ業績の取り込みにより、売上高は126億52百万円(36.1%増)となりました。

住宅設備機器販売につきましても、リフォーム店やビルダー向けの住設商品販売が順調に推移したことや、インテルグローグループ業績の取り込みにより、売上高は28億46百万円(109.6%増)となりました。

外壁工事につきましては、大手ハウスメーカーによる住宅外壁向けタイルの採用率が大幅に増加した結果、売上高は61億10百万円(17.9%増)となりました。

建材及び関連商品販売につきましては、専門タイル工事店との取引強化によるインスタシェアの向上とインテルグローグループ業績の取り込みにより、売上高は52億58百万円(25.6%増)となりました。

利益面につきましては、4部門すべてが前年の売上総利益率を上回りました。但し、外壁工事部門においては、外注費の高騰による採算性の低下が顕在化し始めており、サイディング等の工事の拡大に向けた技能工の育成確保や、サイディング板材を工場ですべて事前にカットする仕組みの早期実現が課題となっております。

(大型物件事業)

大型物件事業の売上高は、40億36百万円と前年同四半期に比べ9億89百万円(32.5%)の増収、セグメント利益は3億9百万円と前年同四半期に比べ1億82百万円(143.7%)の増益となりました。

マンションの建設需要は持ち直しの傾向が継続しております。新築マンションの着工戸数は2009年に6万戸台までに急落した後、2011年以後3年続けて年間12万戸を超える状況にあり、さらに年度末に向けた増税前の竣工現場が増加しました。

このような状況の下、タイル工事につきましては、市況好転の影響を受け、今期予定している受注金額は既に確保されており、完成物件や工事の進行が順調に推移した結果、売上高は18億74百万円(42.9%増)となりました。利益面につきましても、受注単価は年々回復傾向にあり、さらに採算重視の受注体制を敷いた結果、売上総利益は前年に比べ大きく改善いたしました。

住宅設備工事につきましては、官公庁向け空調工事は計画通りでしたが、内装と設備工事を請け負うリニューアル工事は安定した受注先が確保できず計画値と大きく乖離いたしました。また、集合住宅向けのユニットバス工事は選別受注を実行したことにより売上高は減少いたしました。但し、インテルグローグループ業績の取り込みにより、売上高は21億62百万円(24.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億5百万円増加し、292億45百万円となりました。これは主として、受取手形・完成工事未収入金等が18億84百万円増加し、現金及び預金が3億50百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億22百万円増加し、140億87百万円となりました。これは主として、ファクタリング未払金が4億86百万円、短期借入金金が3億69百万円増加し、未成工事受入金金が2億38百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億83百万円増加し、151億58百万円となりました。これは主として、利益剰余金が7億59百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ3億50百万円減少し、63億40百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、4億99百万円（前年同四半期は4億30百万円の増加）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益15億13百万円の計上及び仕入債務の増加額4億53百万円等による増加と、売上債権の増加額21億23百万円等の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は19百万円（前年同四半期は1億74百万円の減少）となりました。これは主として、国庫補助金による収入32百万円、有形固定資産の取得による支出49百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、1億68百万円（前年同四半期は88百万円の減少）となりました。これは主として、短期借入金純増加額3億90百万円、配当金の支払額1億38百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月22日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,691,576	6,340,616
受取手形・完成工事未収入金等	11,554,287	13,438,890
商品	508,283	484,315
未成工事支出金	1,322,827	1,114,813
材料貯蔵品	18,777	21,980
繰延税金資産	325,519	226,004
その他	367,724	400,426
貸倒引当金	△83,447	△86,799
流動資産合計	20,705,548	21,940,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,565,932	1,551,850
機械装置及び運搬具(純額)	10,025	7,399
工具、器具及び備品(純額)	72,769	67,668
土地	4,170,156	4,170,156
リース資産(純額)	60,758	50,751
建設仮勘定	18,196	6,361
有形固定資産合計	5,897,838	5,854,188
無形固定資産		
のれん	5,712	4,760
その他	120,031	104,954
無形固定資産合計	125,744	109,715
投資その他の資産		
投資有価証券	315,906	354,763
長期貸付金	6,279	5,508
繰延税金資産	39,086	69,566
その他	1,140,056	1,104,392
貸倒引当金	△190,438	△192,453
投資その他の資産合計	1,310,891	1,341,777
固定資産合計	7,334,474	7,305,680
資産合計	28,040,023	29,245,927

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,522,359	6,502,316
ファクタリング未払金	2,885,314	3,372,232
短期借入金	698,756	1,068,001
リース債務	27,513	24,764
未払法人税等	493,458	506,148
未成工事受入金	511,680	273,121
完成工事補償引当金	19,447	22,780
工事損失引当金	14,449	7,658
その他	1,110,063	926,796
流動負債合計	12,283,042	12,703,819
固定負債		
長期借入金	337,923	289,300
リース債務	36,921	29,209
退職給付引当金	150,667	146,016
役員退職慰労引当金	100,175	80,424
役員退職慰労未払金	45,830	45,830
繰延税金負債	32,238	85,640
その他	678,602	707,328
固定負債合計	1,382,358	1,383,748
負債合計	13,665,401	14,087,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	896,350	896,350
資本剰余金	1,360,896	1,360,896
利益剰余金	12,088,424	12,848,236
自己株式	△32,914	△32,999
株主資本合計	14,312,756	15,072,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,865	85,875
その他の包括利益累計額合計	61,865	85,875
純資産合計	14,374,621	15,158,359
負債純資産合計	28,040,023	29,245,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	23,066,997	30,903,694
売上原価	19,918,370	26,365,862
売上総利益	3,148,626	4,537,831
販売費及び一般管理費	2,394,320	3,133,646
営業利益	754,305	1,404,185
営業外収益		
受取利息	34,702	48,888
受取配当金	3,680	7,138
不動産賃貸料	10,448	66,869
その他	13,256	12,247
営業外収益合計	62,086	135,145
営業外費用		
支払利息	3,363	7,653
支払手数料	5,517	5,256
不動産賃貸原価	5,332	40,885
その他	—	4,404
営業外費用合計	14,214	58,200
経常利益	802,178	1,481,130
特別利益		
国庫補助金	—	32,399
負ののれん発生益	41,638	—
投資有価証券売却益	869	600
特別利益合計	42,507	32,999
特別損失		
固定資産除却損	1,745	7
固定資産売却損	30	17
会員権評価損	—	570
特別損失合計	1,775	595
税金等調整前四半期純利益	842,910	1,513,533
法人税、住民税及び事業税	292,427	506,417
法人税等調整額	74,210	108,430
法人税等合計	366,638	614,847
少数株主損益調整前四半期純利益	476,271	898,686
四半期純利益	476,271	898,686

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	476,271	898,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,436	24,010
その他の包括利益合計	25,436	24,010
四半期包括利益	501,708	922,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	501,708	922,696
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	842,910	1,513,533
減価償却費	72,707	107,897
のれん償却額	5,994	952
負ののれん発生益	△41,638	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△44,026	5,366
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△225	△19,751
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△20,445	△6,790
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19,487	△4,651
受取利息及び受取配当金	△38,382	△56,027
支払利息	3,363	7,653
国庫補助金	—	△32,399
売上債権の増減額 (△は増加)	△414,516	△2,123,162
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	106,244	29,671
たな卸資産の増減額 (△は増加)	22,890	228,779
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	53,303	67,095
仕入債務の増減額 (△は減少)	203,396	453,661
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△168,866	△269,587
その他	28,203	22,632
小計	630,400	△75,126
利息及び配当金の受取額	38,382	55,959
利息の支払額	△3,363	△7,653
法人税等の支払額	△235,235	△472,601
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,183	△499,422
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△199,953	—
有形固定資産の取得による支出	△18,963	△49,800
有形固定資産の売却による収入	60	407
国庫補助金による収入	—	32,399
無形固定資産の取得による支出	△18,059	△7,469
投資有価証券の取得による支出	△1,106	△1,800
投資有価証券の売却による収入	1,168	960
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	142,322	—
貸付けによる支出	△1,000	△1,000
貸付金の回収による収入	7,851	3,569
その他	△86,433	3,091
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174,115	△19,642
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	390,000
長期借入金の返済による支出	—	△69,378
自己株式の取得による支出	△16	△84
配当金の支払額	△84,681	△138,385
その他	△4,164	△14,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,863	168,104
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	167,204	△350,960
現金及び現金同等物の期首残高	4,567,547	6,691,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,734,752	6,340,616

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,046,503	20,020,493	23,066,997	—	23,066,997
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,399	15,623	19,022	△19,022	—
計	3,049,903	20,036,117	23,086,020	△19,022	23,066,997
セグメント利益	127,052	1,056,541	1,183,593	△429,287	754,305

(注) 1 セグメント利益の調整額△429,287千円はセグメント間取引消去557千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△429,844千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間より、株式会社インテルグローの株式を取得し、同社及び同社の子会社2社を連結の範囲に含めております。これに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの金額は、「大型物件事業」において1,197,446千円、「戸建住宅事業」において4,353,812千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

株式会社インテルグローの株式を取得し、同社及び同社の子会社2社を連結子会社としたことにより、負ののれん発生益41,638千円を特別利益に計上しております。当該負ののれん発生益は報告セグメントへ配分しておりません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,036,470	26,867,223	30,903,694	—	30,903,694
セグメント間の 内部売上高又は振替高	337,370	16,267	353,637	△353,637	—
計	4,373,840	26,883,491	31,257,332	△353,637	30,903,694
セグメント利益	309,595	1,443,212	1,752,808	△348,623	1,404,185

(注) 1 セグメント利益の調整額△348,623千円はセグメント間取引消去82,448千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△431,071千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。